

第 1.0 版

監視の基本設定



対応機種：NF-Z200・NF-Z400

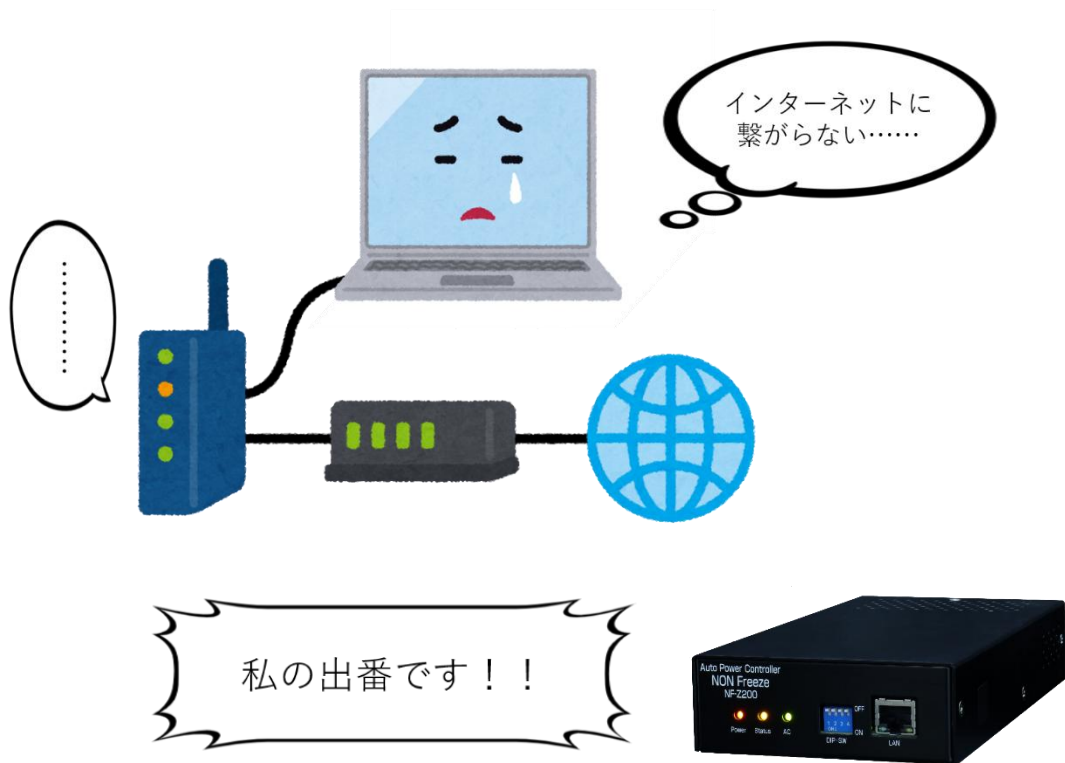
1 目次

1	目次	1
2	NON フリーズとは？	2
3	どうやるの？	3
3.1	大体の流れ	3
3.2	基本的な構成	3
3.3	設定 PC のネットワーク設定を行う	3
3.4	NON フリーズのネットワーク設定を行う	5
3.5	現地のネットワーク環境で接続する	7
3.6	監視設定	7
3.6.1	設定方法 ～まずは疎通確認～	8
3.6.2	設定方法 ～アクション設定～	11
3.6.3	アクション自動休止/再開	12

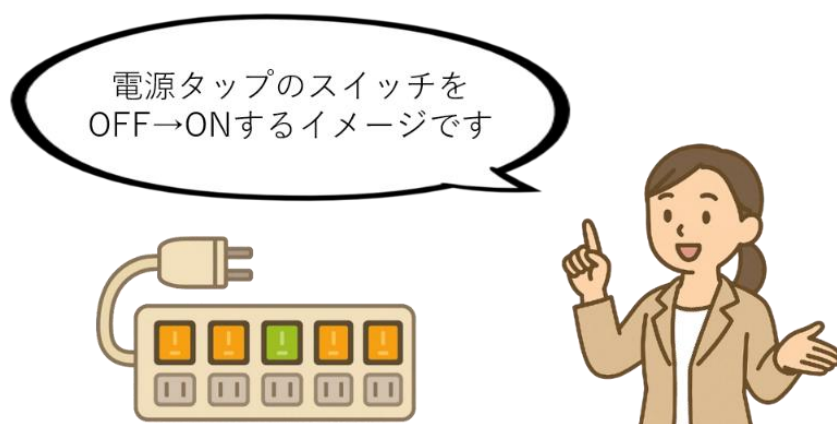
2 NON フリーズとは？

NON フリーズとは、フリーズを検知すると自動で再起動をかけるネットワーク監視装置です。

指定した IP アドレスへの Ping やポートチェックによって、通信が正常に行われているかを確認して、NG のときは指定されたアクションを実行します。



「指定されたアクション」とは 4 パターンありますが、主にアウトレット（電源のコンセント）の OFF→ON です。ルーターなどの電源を切り入りすることで、復旧を試みます。



フリーズしたルーターは、電源を抜き差しすることで復旧することが多いです。NON フリーズは現地まで抜き差しに行かなくても、自動でそれを行ってくれます。

3 どうやるの？

基本のネットワーク設定をご存知で、監視設定に進みたい場合は👉「3.6 監視設定」に進んでください。

3.1 大体の流れ

基本の設定としては以下のような手順になります。

1. NON フリーズの電源を入れる。
2. ルーターの電源プラグを NON フリーズ背面のアウトレットに挿す。
3. NON フリーズと設定 PC を LAN ケーブルで直結する。
4. 設定 PC のネットワーク設定を NON フリーズのセグメントに合わせて変更する。
5. NON フリーズのネットワーク設定を現地環境に合わせて変更する。
6. NON フリーズをルーター、またはその配下の HUB と LAN ケーブルで接続する。
7. 設定 PC のネットワーク設定を現地環境に合わせ、ルーター、またはその配下の HUB と LAN ケーブルで接続する。
8. NON フリーズの監視設定を行う。

手順の詳細については次項よりご確認ください。

3.2 基本的な構成

まず、インターネット通信ができていないかどうかを監視する場合を例とします。

1. NON フリーズ背面のアウトレット（コンセント）にルーターの電源プラグを挿します。
2. NON フリーズと、お手持ちの設定 PC の LAN ポート同士を LAN ケーブルで繋ぎます。

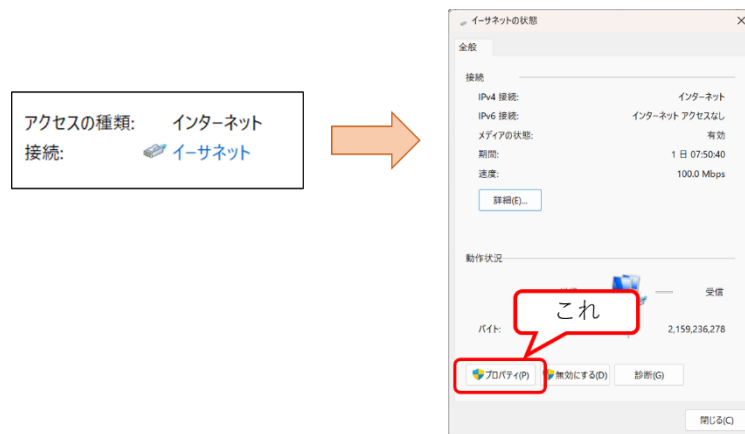


3.3 設定 PC のネットワーク設定を行う

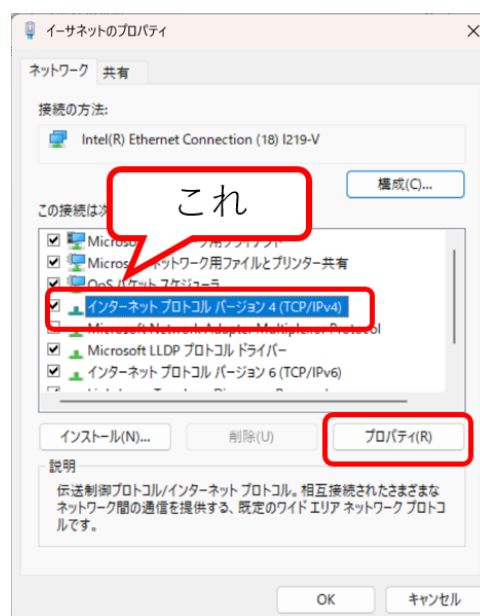
NON フリーズの初期 IP アドレスは「192.168.22.111」ですので、設定 PC のセグメントを合わせます。やり方をご存知の場合は、セグメントを 22 に合わせて👉「3.4 NON フリーズのネットワーク設定」に進んでください。

ご存知ない場合はそのままお進みください。

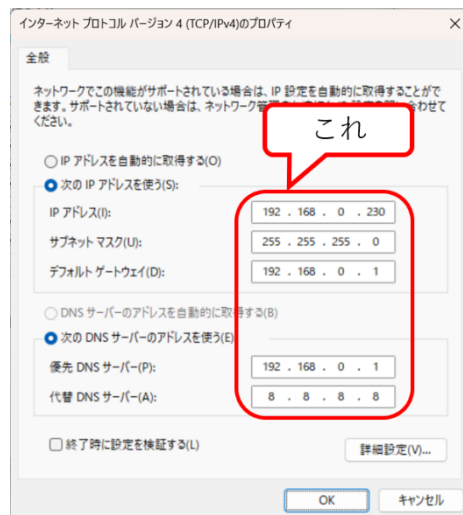
1. お手持ちの設定 PC の IP アドレスを NON フリーズと合わせます。コントロールパネルから、「ネットワークと共有センター」を開いてください。
2. 「イーサネット」をクリックして開き、「プロパティ」を開きます。



3. 「インターネットプロトコルバージョン 4 (TCP/IPv4)」を選択して、「プロパティ」をクリックします。



4. 設定 PC のネットワーク設定を一時的に変更します。作業終了後の復旧のために、プロパティを開いたときに表示される自身の IP アドレス設定はメモを取るか、スマホの写真などで記録しておいてください。



5. 「次の IP アドレスを使う」を選択して、以下のように設定してください。

- IP アドレス : 192.168.22.112
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ : 192.168.22.1

6. 「次の DNS サーバーのアドレスを使う」を選択して、以下のように設定してください。

- 優先 DNS サーバー : 192.168.22.1
- 代替 DNS サーバー : 空欄

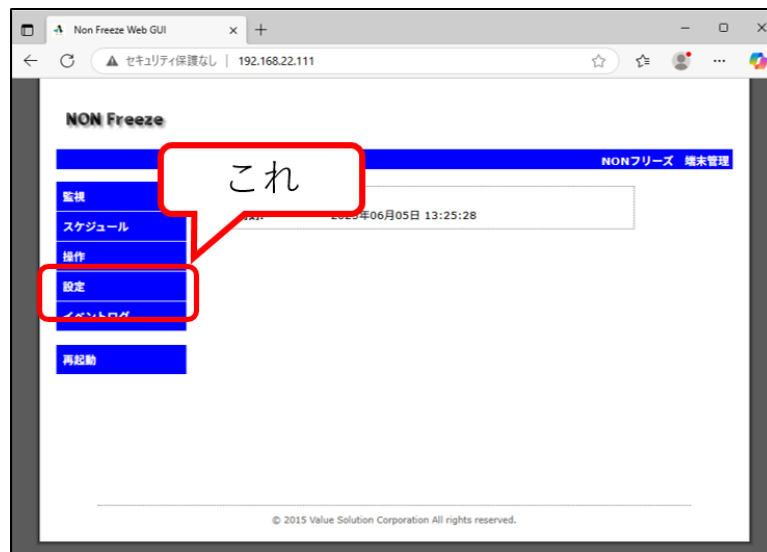


7. 「OK」を押していき、PC のネットワーク設定を完了してください。

3.4 NON フリーズのネットワーク設定を行う

NON フリーズのネットワーク設定を、監視先のネットワークに合わせて変更します。

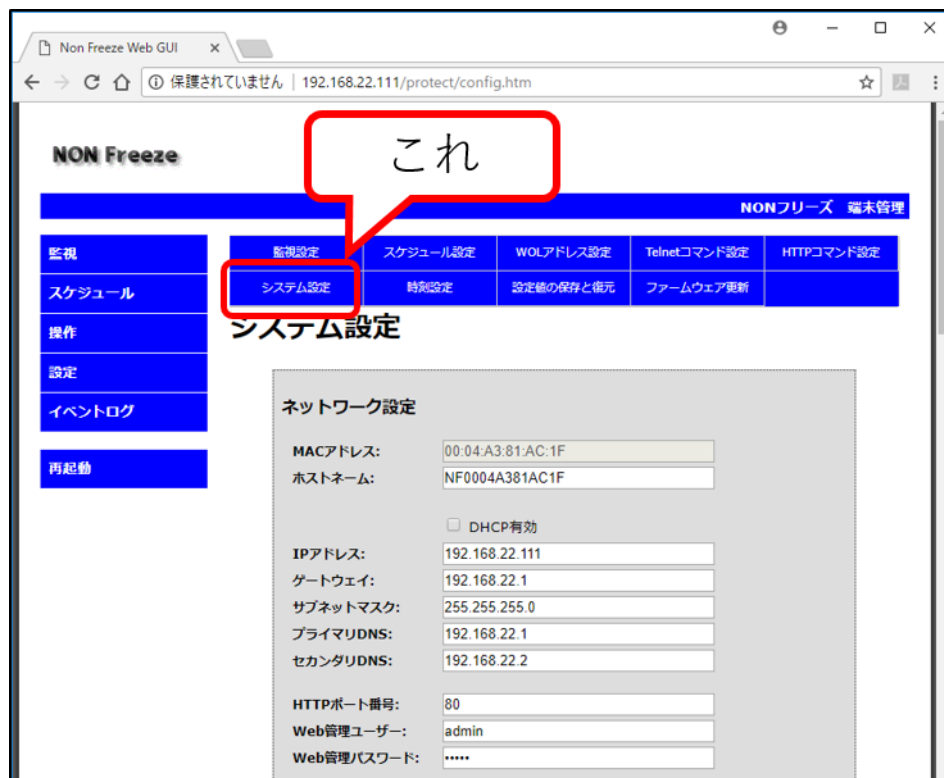
1. ブラウザの GoogleChrome または Edge を開き、URL 欄に「192.168.22.111」を入力して、開きます。
2. TOP 画面が開いたら、左メニューから「設定」を選択してください。



3. ユーザー認証を求められたら、以下のように入力してください。

- ユーザー名 : admin
- パスワード : value

4. 上メニューから「システム設定」を開いてください。



5. 以下の項目を、設置場所のネットワーク環境に合わせて変更してください。

- IP アドレス
- ゲートウェイ
- サブネットマスク

- プライマリ DNS
- セカンダリ DNS（必要に応じて）

※DHCP 有効で設定する場合は、必ずホストネームと HTTP ポート番号を記録しておいてください！NON フリーズにアクセスできなくなります！

6. 設定したら一番下の「設定保存」ボタンを押します。保存に成功すると、NON フリーズが再起動されます。

※再起動実行中画面での画面リロードはやらないようにしてください。更に再起動がかかってしまいます。

3.5 現地のネットワーク環境で接続する

NON フリーズのネットワーク設定を保存したら、設定 PC と NON フリーズを現地のネットワーク環境下に接続してください。下図は LAN ケーブルの接続イメージです。



設定 PC のネットワーク設定を☞「3.3 設定 PC のネットワーク設定を行う」のやり方で現地環境に合わせてください。基本的には「IP アドレスを自動的に取得する」と「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」で大丈夫なはずです。

設定 PC、NON フリーズ双方が現地のネットワーク環境に入ったら、再びブラウザから NON フリーズにアクセスしてください。

NON フリーズを DHCP 設定にしている場合は URL 欄に「ホストネーム:ポート番号」を入力することでアクセスすることができます。

例) `http://NONFREEZE:8080` など

3.6 監視設定

何を監視するのかについてはユーザー様それぞれですが、ここでは基本的な「インターネット接続ができてるか」について記載していきます。

現地ネットワーク環境がインターネットに接続できているかについては、IP アドレス「8.8.8.8」への Ping 監

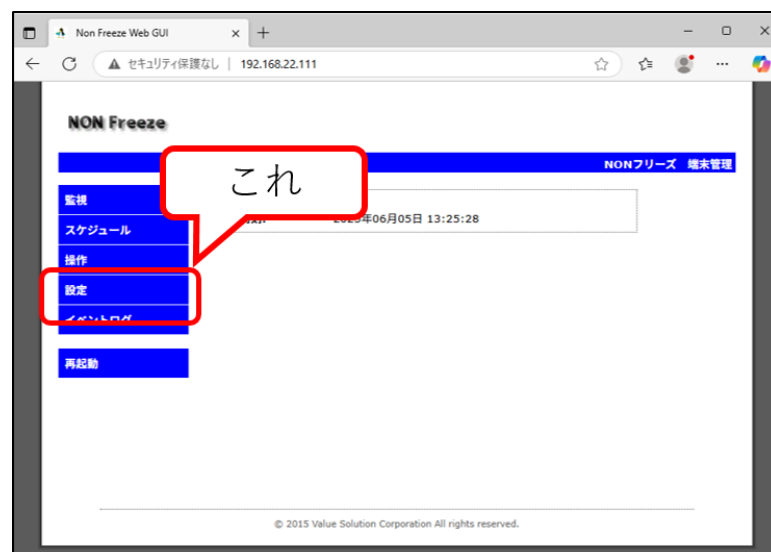
視で確認します。IP アドレス「8.8.8.8」は Google が提供する無料のパブリック DNS サーバーのアドレスです。外部の安定したサーバーへの疎通確認が取れば良いので、監視先は「8.8.8.8」でなくても構いません。

例)

- 8.8.4.4
- 1.1.1.1
- 9.9.9.9 など……

3.6.1 設定方法 ～まずは疎通確認～

1. 設定 PC から NON フリーズの画面を開き、左メニューから「設定」メニューを選択します。



2. 監視設定ページが開きます。下図は Z200 の画面ですが、やり方は Z400 も同じです。

3. 「監視 IP」の欄に監視先 IP アドレスを入力します。「8.8.8.8」を例とします。PORT 番号は基本的には入れ

なくても大丈夫です。

アウトレット名称		監視条件	
名称	Outlet1	監視対象アドレス :	No.1
メモ		☒ アクション有効	監視 IP 8.8.8.8 PORT
		☐ PORTチェックのみ	☐ アクション自動休止/再開
		監視前待機(秒) 60	
		監視間隔(秒) 60	

4. 「監視前待機(秒)」と「監視間隔(秒)」はお好みで設定してください。

➤ 監視前待機(秒)

- ✓ NON フリーズが起動してから、または監視設定保存してから、監視が実際にスタートするまでの待機時間です。

➤ 監視間隔(秒)

- ✓ 一つの監視 IP への監視確認を実行してから、次の監視 IP の監視を実行するまでの待機時間です。

Z400 の「監視前待機(秒)」と「監視間隔(秒)」は枠外上部にあります。

監視設定

監視有効 ☐

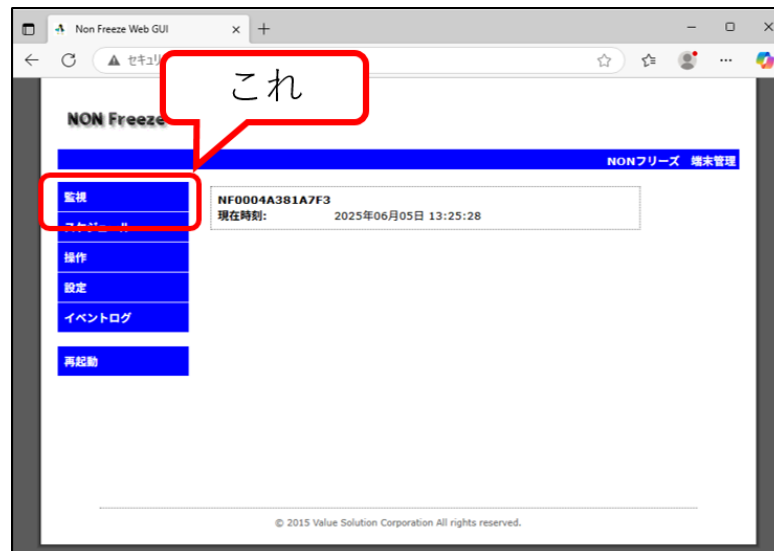
監視前待機(秒) 60
監視間隔(秒) 60

これ

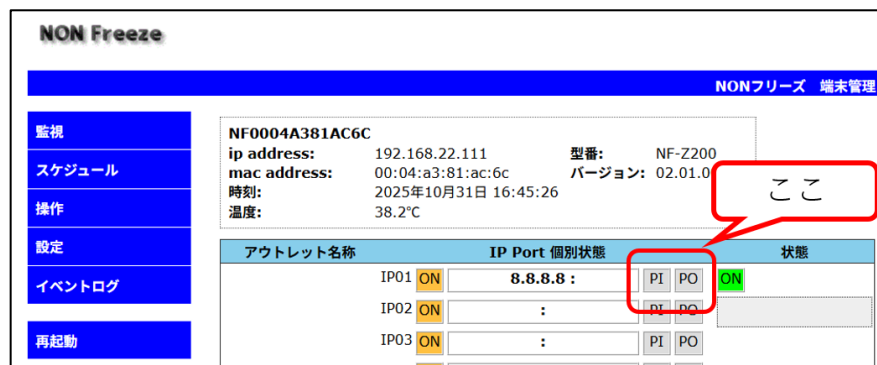
名称	監視条件
メモ	監視対象アドレス : No.1
	☒ アクション有効 監視 IP PORT
	☐ PORTチェックのみ ☐ アクション自動休止/再開
自動休止回数 3	
再開時間(分) 10	

5. 監視有効にチェックを入れて、画面下部の「設定保存」ボタンを押し、まずはこれで疎通確認を取ってみます。それが成功してからアクションを設定しましょう。

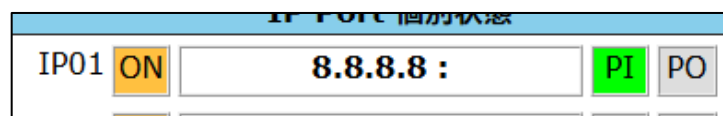
6. 疎通確認は左メニューの「監視」メニューで確認します。



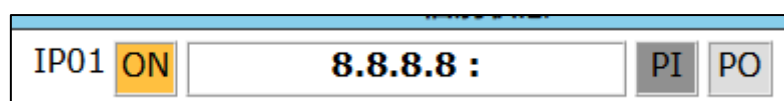
7. 左メニューの「監視」メニューで開いた監視状態ページでは、現在の監視状態が分かります。NON フリーズは監視設定保存から、監視前待機に設定した秒数待機してから監視をスタートしますので、デフォルトのままであれば、60 秒（1 分）待ちます。監視状態ページでの監視前の状態は下図のようになっています。「PI」と「PO」が監視状態です。



8. 「PI」アイコンは Ping 監視結果、「PO」アイコンはポート監視結果を表します。「8.8.8.8」に無事に Ping が通っている場合は下図のように、緑アイコンになります。



薄いグレーは未設定、または未確認状態を表します。今回はポート監視設定を入れていないので「PO」アイコンは薄いグレーのままです。「8.8.8.8」に Ping が通っていない場合は濃いグレーアイコンになります。



3.6.2 設定方法 ～アクション設定～

1. 無事に疎通確認が取れたら、アクションを設定します。3.6.1 の 1 のときと同じように監視設定ページを開いてください。
2. 監視 NG だった場合のアクション設定を行います。Ping やポート監視が NG になったとき、ここで設定したアクション内容が実行されます。基本設定の場合には電源の OFF→ON を設定します。その他の設定を行いたい場合は、取扱説明書に詳細説明がありますのでそちらをご参照ください。

3. Z200 の場合は以下のように設定して、「設定保存」ボタンを押してください。

- アクション 1 : 電源
- アクション設定 : OFF
- 操作後待機時間(秒) : 5

- アクション 2 : 電源
- アクション設定 : ON
- 操作後待機時間(秒) : 180

上記の場合だと監視 NG 判定のとき、背面アウトレットの給電を OFF にして、5 秒間待機、それから給電を ON にして、180 秒間待機します。操作後待機時間は、アクションを実行してから次の行動までの待機時間です。ルーターは電源を入れてから通信が繋がるまでしばらくラグがありますので、必要に応じて設定してください。

※次の監視は操作後待機時間 + 監視間隔時間を合わせた秒数待機してから行われます。



ルーターの通信が始まらないうちに次の監視が始まると再び電源を OFF→ON してしまうため、監視対象ルーターの起動時間に合わせて操作後待機時間を設定してください。

4. Z400 の場合は以下のように設定して、「設定保存」ボタンを押してください。

- アクション 1 : OUT1 (ルーターを給電しているアウトレットを選択)
- アクション設定 : REBOOT
- 操作後待機時間(秒) : 180

Z400 は REBOOT を選択することで、アウトレットの OFF→ON が実行できます。操作後待機時間は Z200 と同じように、監視対象ルーターの起動時間に合わせて設定してください。

基本の監視設定はここまでです。あとは、監視対象への疎通確認が取れないときに NON フリーズが自動でアクションを実行するようになります。

アクション有効のチェックボックスは、デフォルトは ON の状態ですが、念のため確認するようにしてください。有効にチェックが入っていても、アクション内容が入っていなければ何も実行されませんので、特に外す必要はありません。

3.6.3 アクション自動休止/再開

NON フリーズは監視 NG である限り、そのたびにアクションを実行します。

何度も電源を切り入りすることで監視対象機器の故障リスク上がることが心配な場合は、一定時間アクションを休止することができます。

休止されるのはアクションだけで、監視は続きます。特に気にならない場合は設定しなくても問題ありません。自動休止されたい場合は、以下をご参照ください。

※NON フリーズは一日に一回、システム再起動を行うため、そのときには監視状態やアクション休止状態がリセットされます。

1. 自動休止回数/再開の意味

- 自動休止回数

- ✓ 指定した回数連続でアクションが実行されると、次の監視 NG でアクションが休止します。デフォルトの 3 回の場合、4 回目の監視 NG でアクションが止まります。

➤ 再開時間(分)

- ✓ 自動休止から、指定した時間が経過するとアクションを再開します。

2. Z200 の場合

- 自動休止回数と再開時間の設定は「システム設定」の画面にあります。ネットワーク設定をしたページと同じページです。上部のメニューから、「システム設定」を選択し、システム設定画面を開いてください。
- 下へとスクロールしていくと、自動休止回数/再開の項目があります。ここで自動休止回数と自動再開時間を設定してください。

- 自動休止回数と自動再開時間が設定できたら、監視設定ページに戻り、「アクション自動休止/再開」のチェックを ON にして、設定保存してください。

3. Z400 の場合

- 自動休止回数と再開時間の設定は「監視設定」の画面にあります。

- そのままここで自動休止回数と自動再開時間を設定し、「アクション自動休止/再開」のチェックを

ON にして、設定保存してください。

※ アクションをずっと休止状態にしておくことはできません。 先の説明の通り、NON フリーズは一日に一回、システム再起動を行うため、そのときには監視状態やアクション休止状態がリセットされます。できるだけ長く止めておきたい場合は、最大値の 1440 分を設定してください。

基本の設定方法については以上になります。

その他の詳細な説明については取扱説明書をご参照ください。